

ライフスタイルと環境班

君の名は。

your name.

～宿舎**全全全**世帯間のコミュニケーションを深めよう～

徳田伊織 杵屋溪造 桑原里奈 鈴木賢人 信賀春輝

中野奈美 太田和志 西美佳 長山寛之

指導教員：甲斐田直子 TA：増田祐太郎



発表の流れ



背景

目的

定義

事前アンケート

提案

試行

事後アンケート

分析・考察

今後の提案



背景



入学前、寮に住んだ経験がある二人。

宿舎、もっと
仲良い友達増えると
思ってた。

寮も隣の寮と
関わり薄いよな。。。

筑波大学学生宿舎では、

満足にコミュニケーションがとられていない？

柰屋 湊造

宿舎経歴：一の矢宿舎(1年次)

寮経歴：6年

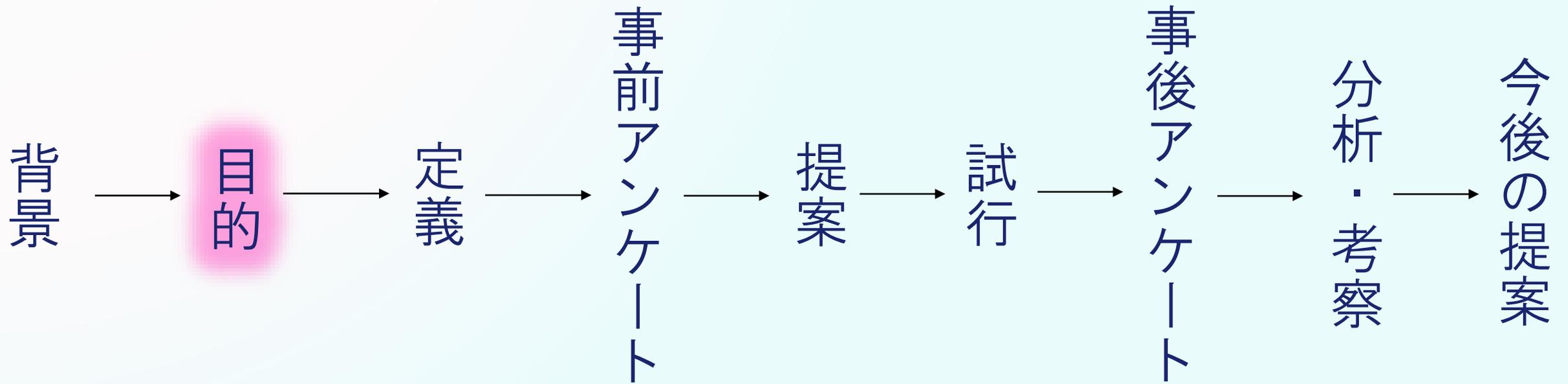
徳田 伊織

宿舎経歴：一の矢宿舎(1年次)

寮経験：1年



発表の流れ





目的



宿舎

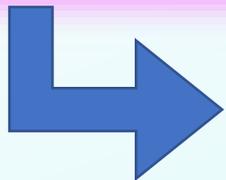
＝所属が全く違う人とも共同生活を送る

新たな
コミュニケーション

隣人との気まずさ

～目的～

- ・ コミュニケーションをとりたい人にきっかけを与える
- ・ 宿舎でのコミュニケーションを満足させる



快適な生活

+

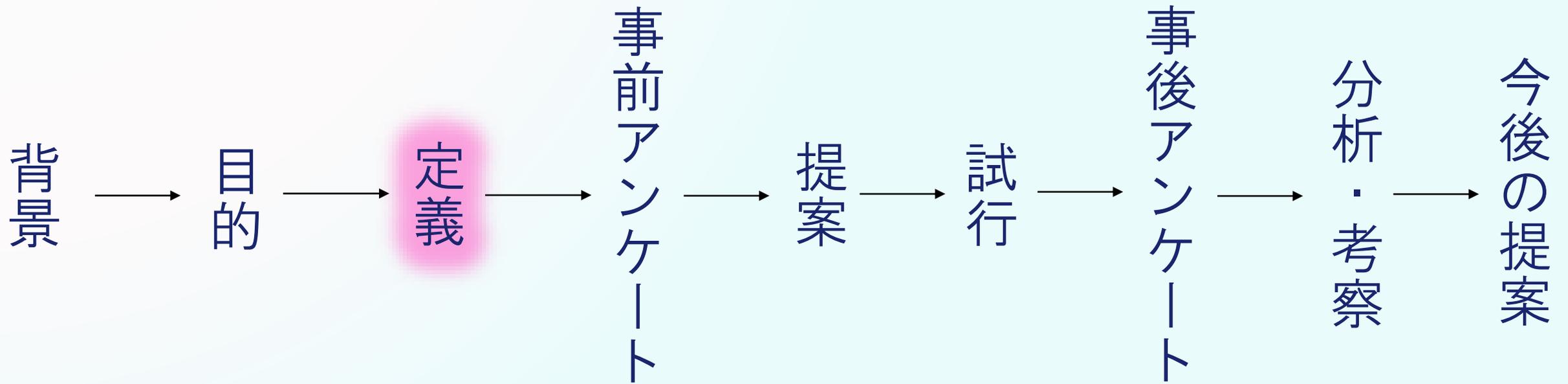
人生の財産

(安心感・防犯)

(思い出・友達・社交性)



発表の流れ





用語の定義



面識がある 顔と名前が一致している状態
会話等の有無によらない

近隣居住者 宿舎内の同一フロアかつ周囲

宿舎棟内 各宿舎の居住棟の中

└─ **共用スペース** 宿舎棟内の共用部分

└─ **交流スペース** 共用スペースのうち
日常生活で必ず使用する部分を除いたもの
ex)補食室、談話室、キッチン

└─ **宿舎外交流スペース** 共用棟を指す





コミュニケーションの定義～検討～



中間発表後…

現代の大学生は何を求めて
コミュニケーションをとるのか

を考えた！！

現代のSNSの利用の仕方
コミュニケーションの意義

などを検討



コミュニケーションの定義～SNS～



映画を見たとき…



友達と鑑賞するとき

その場で友達と話せる ○

1人で鑑賞するとき

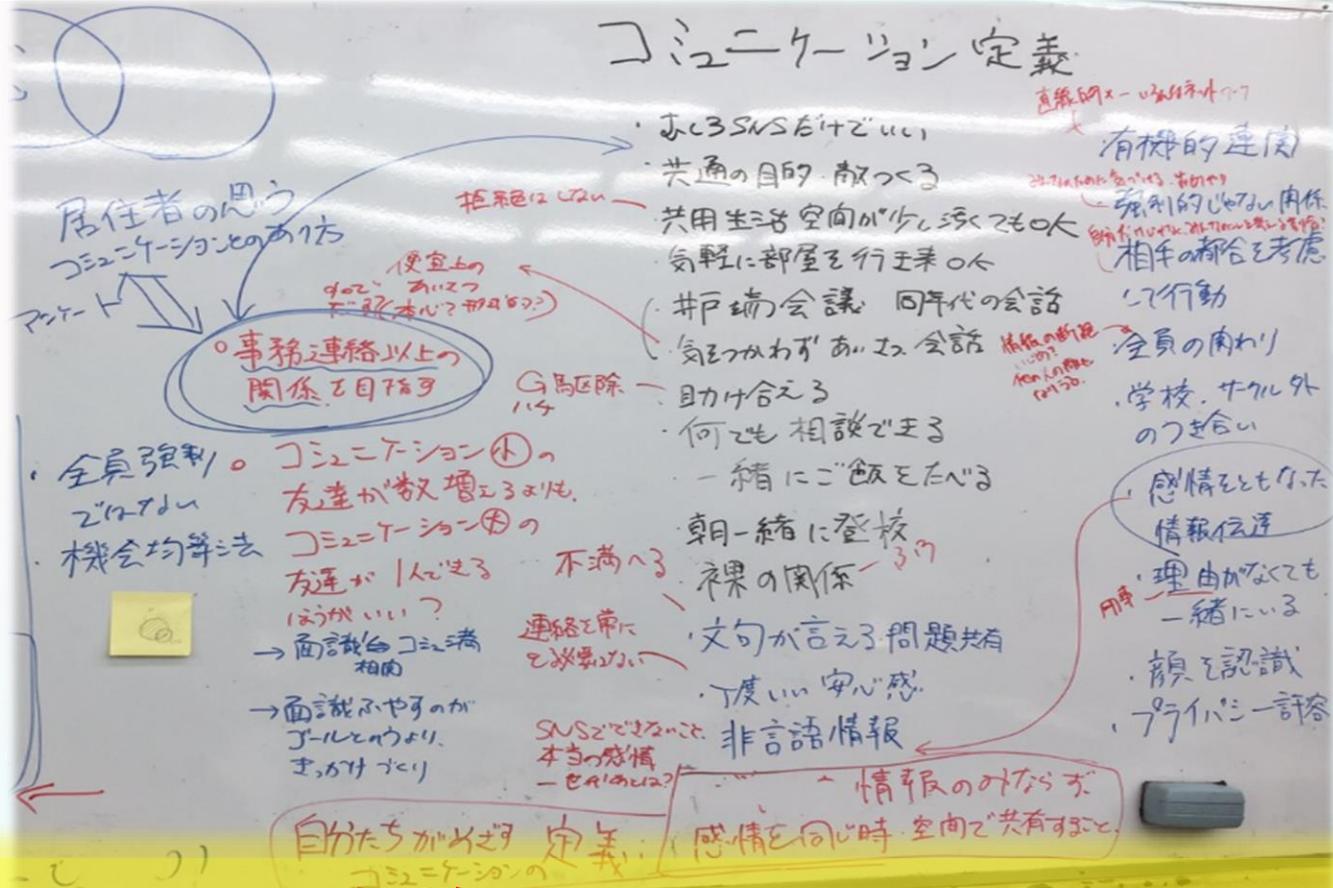
その場で話せない ×

⇒TwitterなどのSNSで他の人と共有 ○



SNSは直接話せないときの代わりとなるツール
→ SNSのコミュニケーションだけでは足りない！

コミュニケーションの定義



コミュニケーションの定義：

情報のみならず、感情を同じ時かつ同じ空間で共有すること



コミュニケーションの定義～モデル図～



感情 ↑ 強

私たちが

コミュニケーションの定義を
裏付けるための分析を実施

対面で感情を共有できる
でも、濃すぎない関係

きっかけを提供する
そこから先は各自で選択

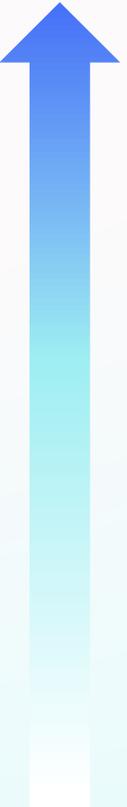
弱



定義の裏付け分析～分類～



アンケートから人間関係を8つに分類

- 対面濃い
- 
- ① 特に理由がなくても集まれる関係
 - ② 一緒に食事ができる関係
 - ③ 同じ授業を一緒に受ける関係
 - ④ 外出先で会った時に雑談ができる関係
 - ⑤ 規則などが理由で顔を合わせる関係
 - ⑥ 挨拶のみ（会話なし）の関係
 - ⑦ SNSを用いた雑談による関係
 - ⑧ SNSによる事務連絡の関係



定義の裏付け分析～乖離度～



乖離度

= {理想の度合い (1～6段階) - 現在の度合い (1～6段階) }

	乖離度 小	乖離度 大
乖離度	0～2	3～5
特徴	現実と理想の差が小さい	現実と理想の差が大きい
	理想的な人間関係の人々	我々が改善したい人間関係の人々

8種類の間人間関係について

① 重回帰分析

② t検定

※乖離度-5～-1
の人は対象外



定義の裏付け分析～重回帰分析～



1. 重回帰分析

「**乖離度** = (理想の度合い) - (現在の度合い)」を目的変数

「各人間関係の度合いの回答値」を説明変数 (5%有意なもののみ)

目的変数	説明変数 (作用する人間関係)	回帰係数
乖離が小さい うち 61人	④外出先で雑談できる	0.28**
乖離が大きい うち 20人	⑥挨拶のみ (会話なし)	0.26**
	⑧SNSによる事務連絡	0.19*
コミュニケーション満足度を上げる 全101人	①理由がなくても集まれる	0.36**

※ ** : $p < 0.05$ * : $p < 0.10$



定義の裏付け分析～ t 検定～

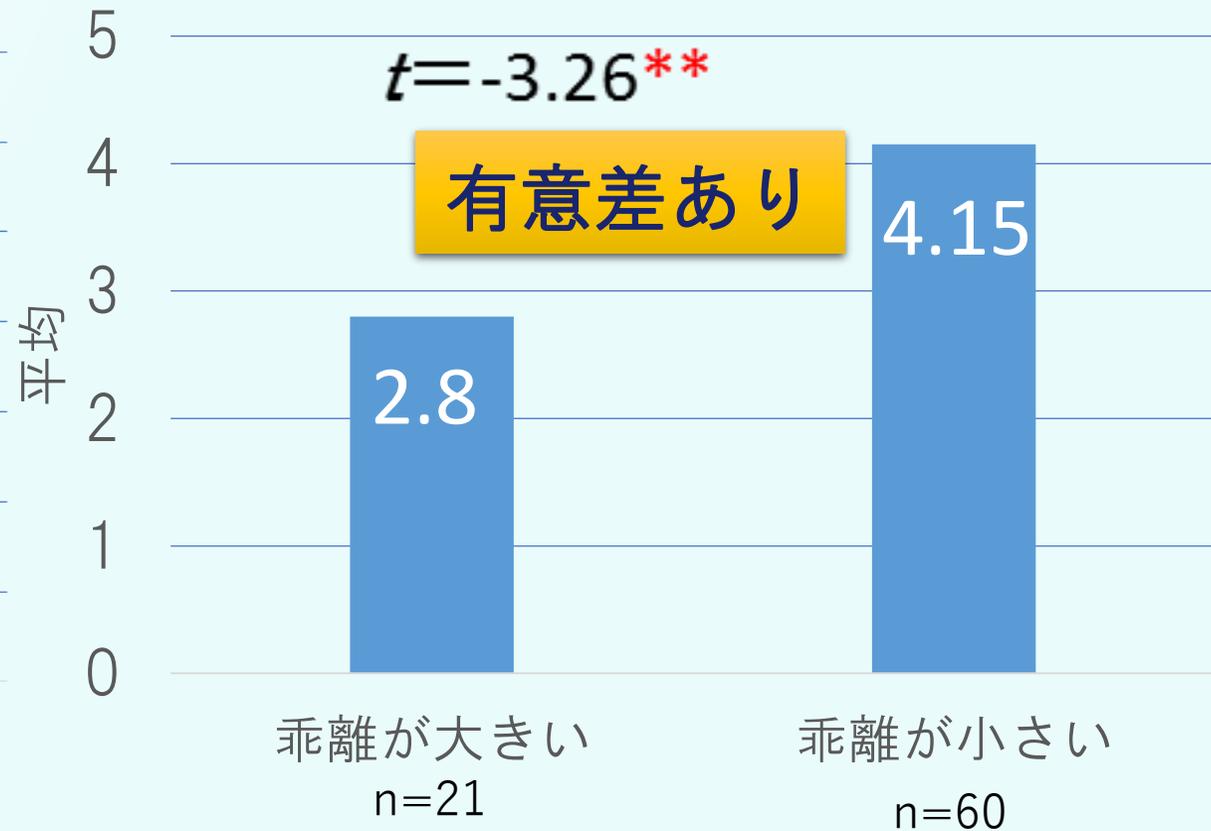


2. t 検定

①理由がなくても集まれる



④外出先で雑談





定義の裏付け分析～ t 検定～



② t 検定 乖離が大きい人の関係

⑥ 挨拶のみ（会話なし）

⑧ SNSによる事務連絡



→有意な差は見られなかった。



定義の裏付け分析～まとめ～



コミュニケーション度合い

得られる効果

①特に理由がなくても集まれる関係

乖離 減

満足 高

④外出先で会った時に雑談ができる関係

乖離 減

⑥挨拶のみ（会話なし）の関係

乖離 増

⑧SNSによる事務連絡の関係

乖離 増

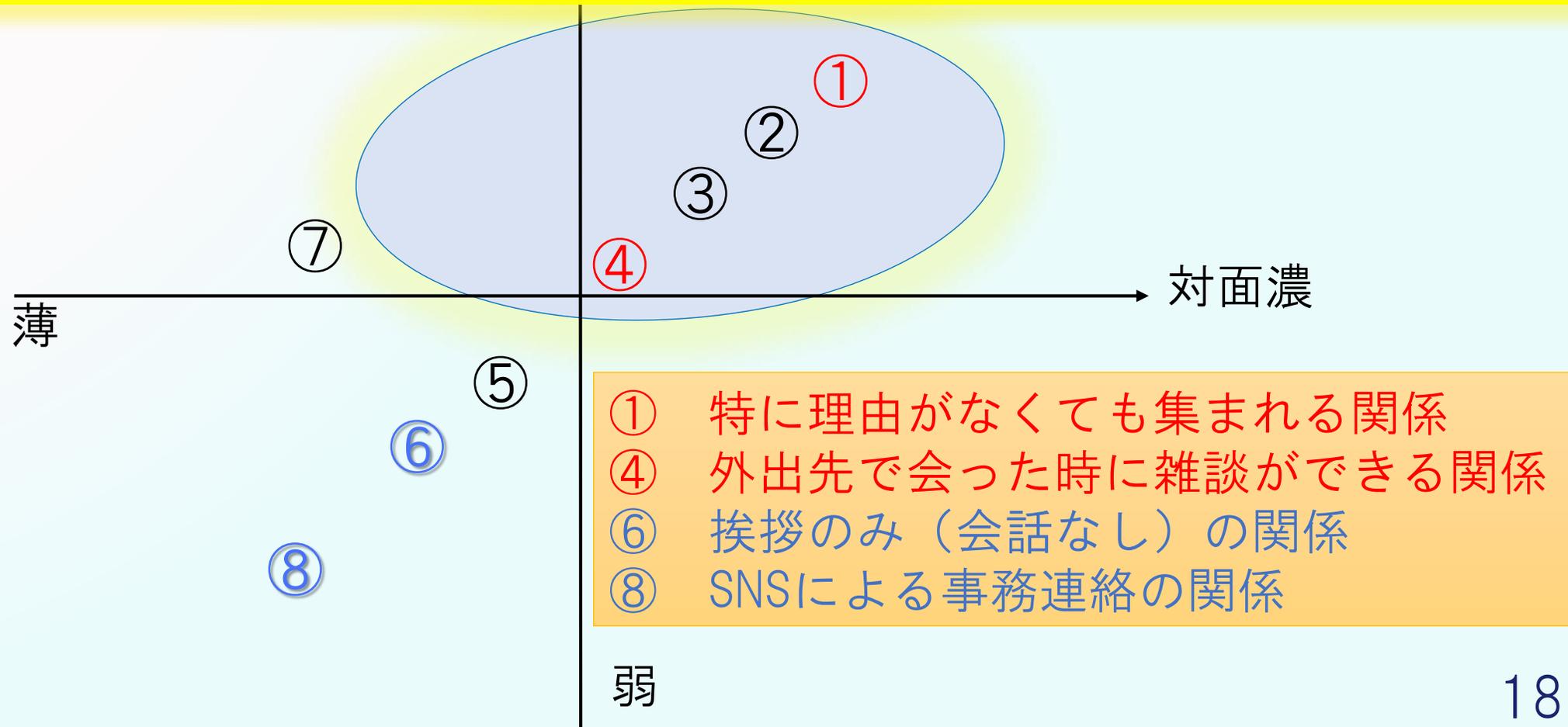


定義の裏付け分析～結果～



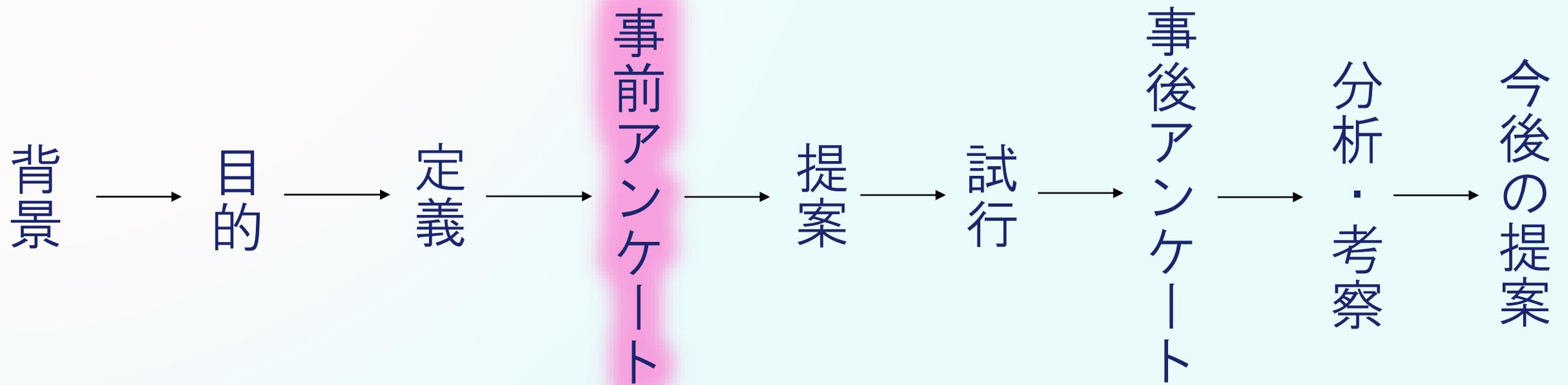
コミュニケーションの定義：

情報のみならず、感情を同じ時かつ同じ空間で共有すること





発表の流れ





事前アンケート



Google フォームによるアンケート

質問 回答 101

10 セクション中 1 個目のセクション

筑波大学学生宿舎のコミュニケーションに関する調査

アンケートにご協力いただきありがとうございます。
社会工学類都市計画専攻 3 年次の都市計画に関する実習の一環として、宿舎生を対象にした調査を行っております。
以下の質問に回答の上、フォームを送信してください。なお、ご回答いただいた内容は全て統計処理がなされ、個人が特

セクション 1 以降 次のセクションに進む

10 セクション中 2 個目のセクション

セクション タイトル (省略可)

説明 (省略可)

学群・学類 (例 ○○群・○○類) *

対象:筑波大の宿舎生101人に実施

期間: 2017年5月31日～6月4日

～主な質問内容～

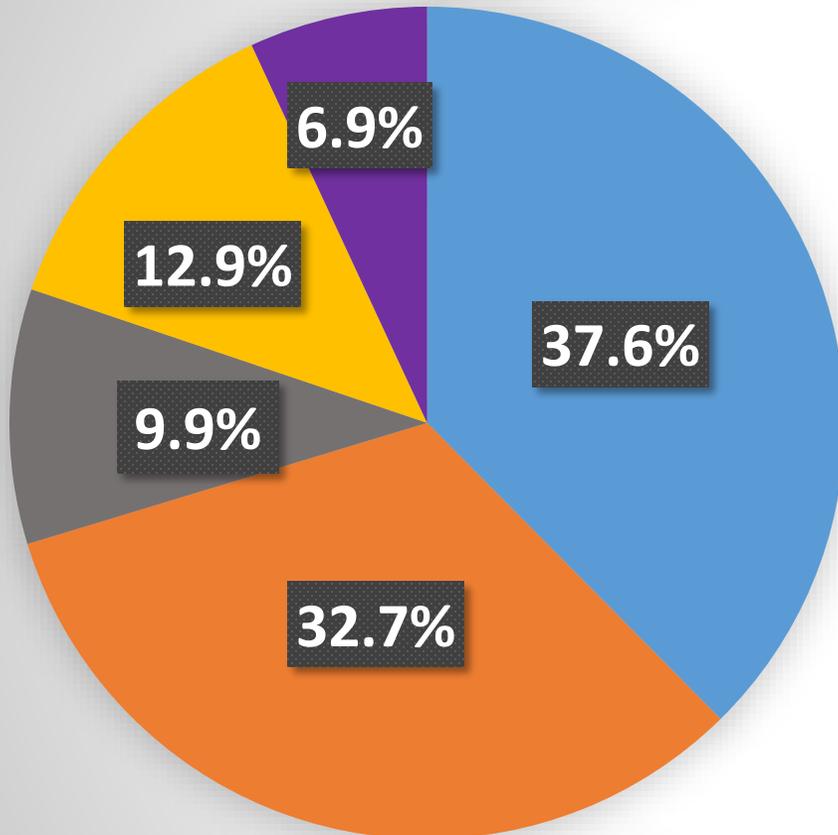
- ・ 現在のコミュニケーションの現状
- ・ 宿舎での望ましいコミュニケーション
- ・ 宿舎内外の交流スペースについて



事前アンケート



調査対象者の入居している宿舎 n=101



- 一の矢改修棟
- 平砂改修棟
- 追越改修棟
- 春日宿舎
- グローバルヴィレッジ



事前アンケート～宿舎のコミュニケーションを上げる根拠～

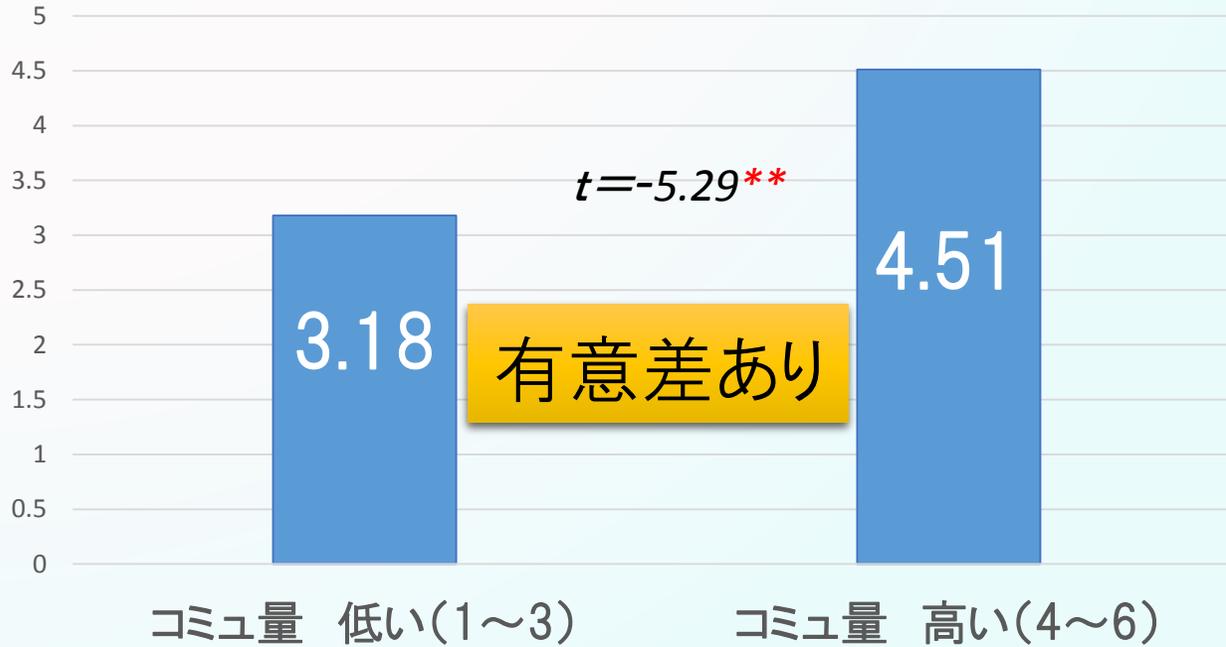


宿舎におけるコミュニケーションの「量と質」

コミュニケーション量を6段階で質問

宿舎内の面識関係について質問

t検定 コミュニケーション満足度 n=101



t検定 コミュニケーション満足度 n=96

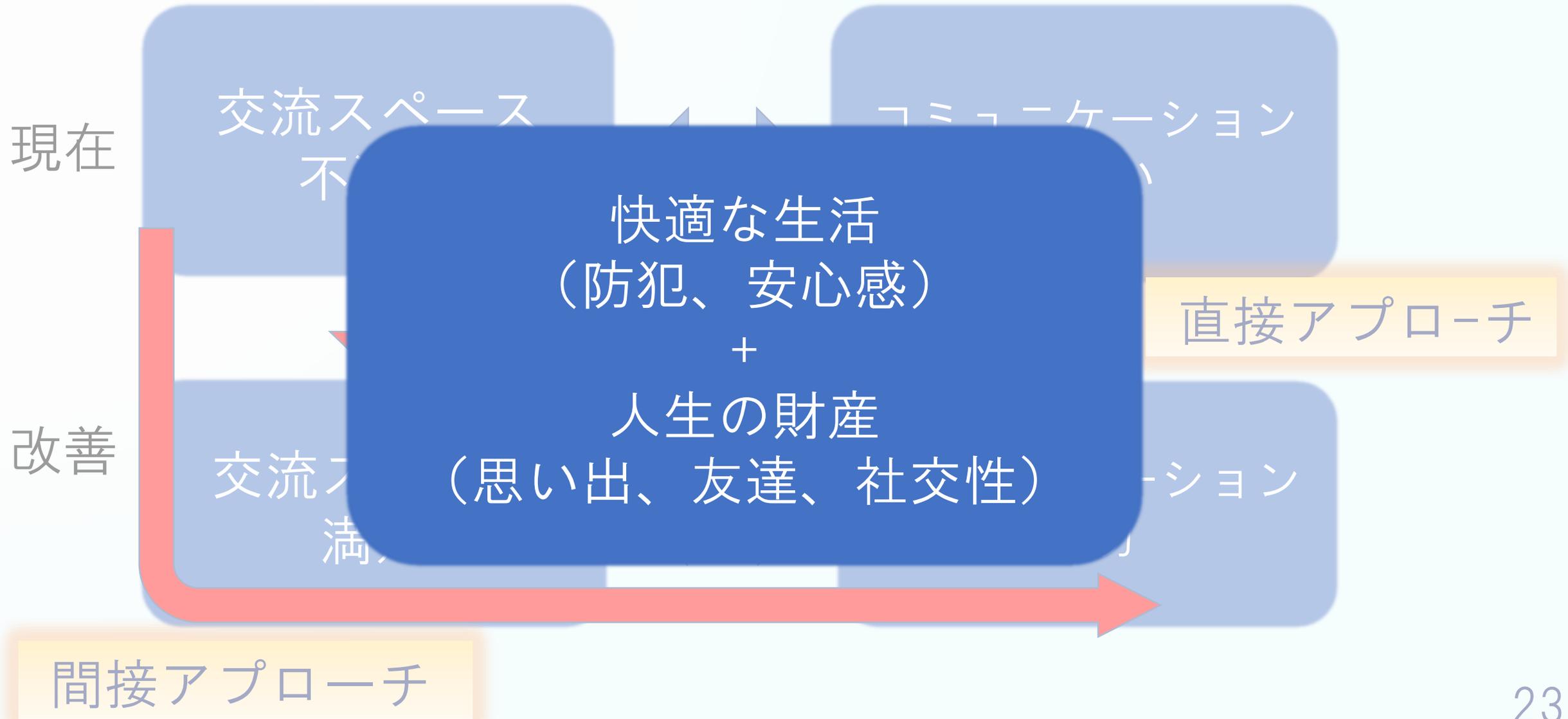


→現時点で、宿舎のコミュニケーションを増やす根拠

※*** : p<0.01 ** : p<0.05



コミュニケーション形成モデル

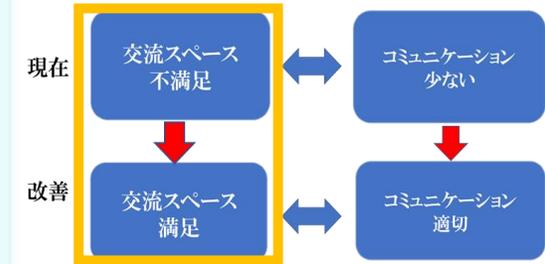




事前アンケート～交流スペース満足度とコミュ満足度～



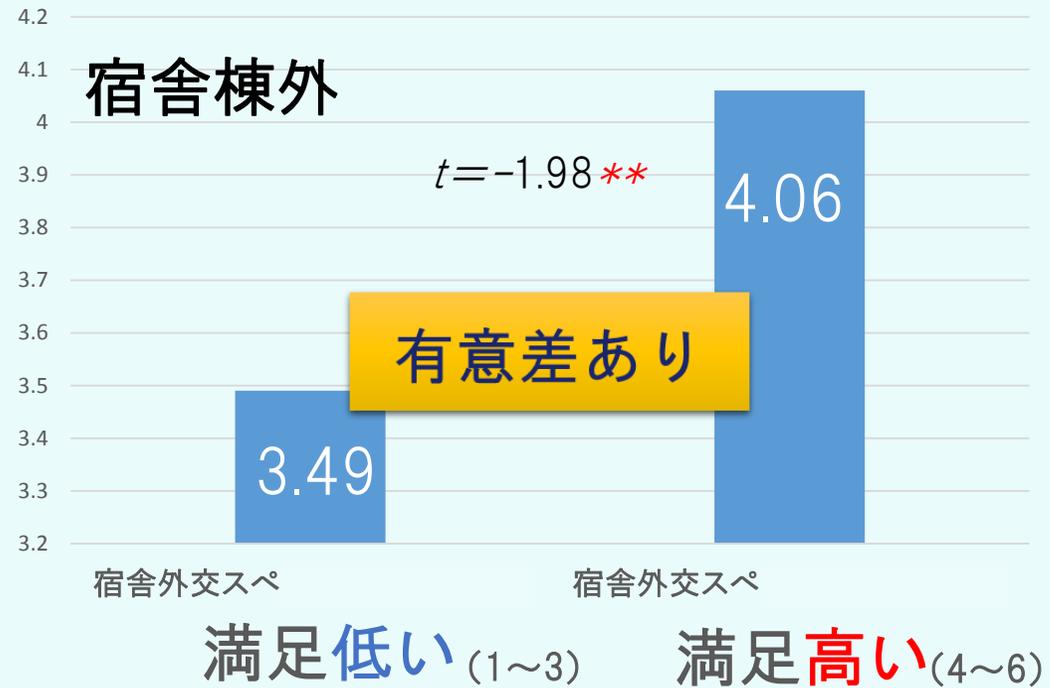
宿舎交流スペースの「満足度」における コミュニケーションの満足度の差



(1~3)
t検定 コミュニケーション満足度 n=101



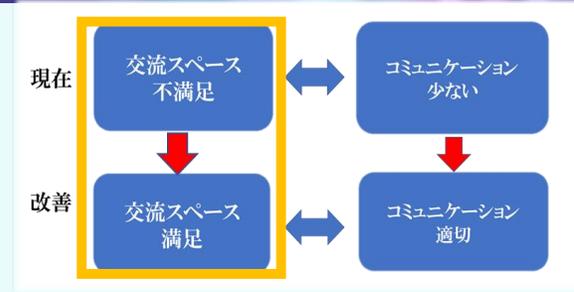
t検定 コミュニケーション満足度 n=101



※*** : p < 0.01 ** : p < 0.05

事前アンケート～交流スペース使用頻度とコミュニケーション満足度～

宿舎交流スペースの「使用頻度」における コミュニケーションの満足度の差



t 検定 コミュニケーション満足度 n=101

t 検定 コミュニケーション満足度 n=101

完全補内

完全補外

宿舎内・外交流スペースの 「満足度・使用頻度」を上げる施策を検討

2.8

宿舎内交スペ使用頻度

満足低い (1~3)

宿舎内交スペ使用頻度

満足高い (4~6)

3.3

宿舎外交スペ使用頻度

満足低い (1~3)

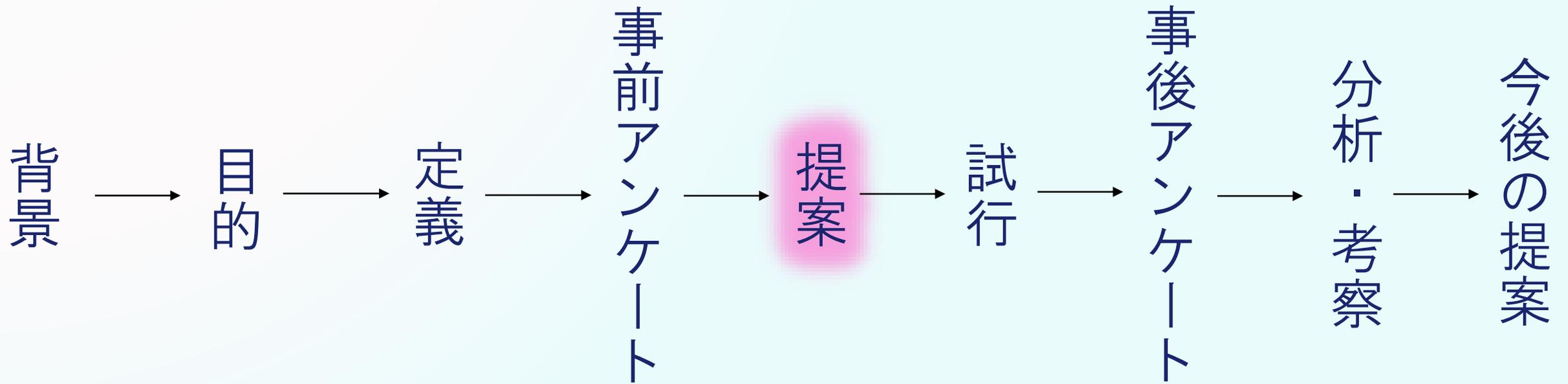
宿舎外交スペ使用頻度

満足高い (4~6)

※** : p < 0.05



発表の流れ





ヒアリング



日時：2017年5月24日(水)14時

対象：学生生活課
大手さん 細沼さん



目的：提案内容に対する生活課の意見を得る
提案内容は実施可能か、内容の精査



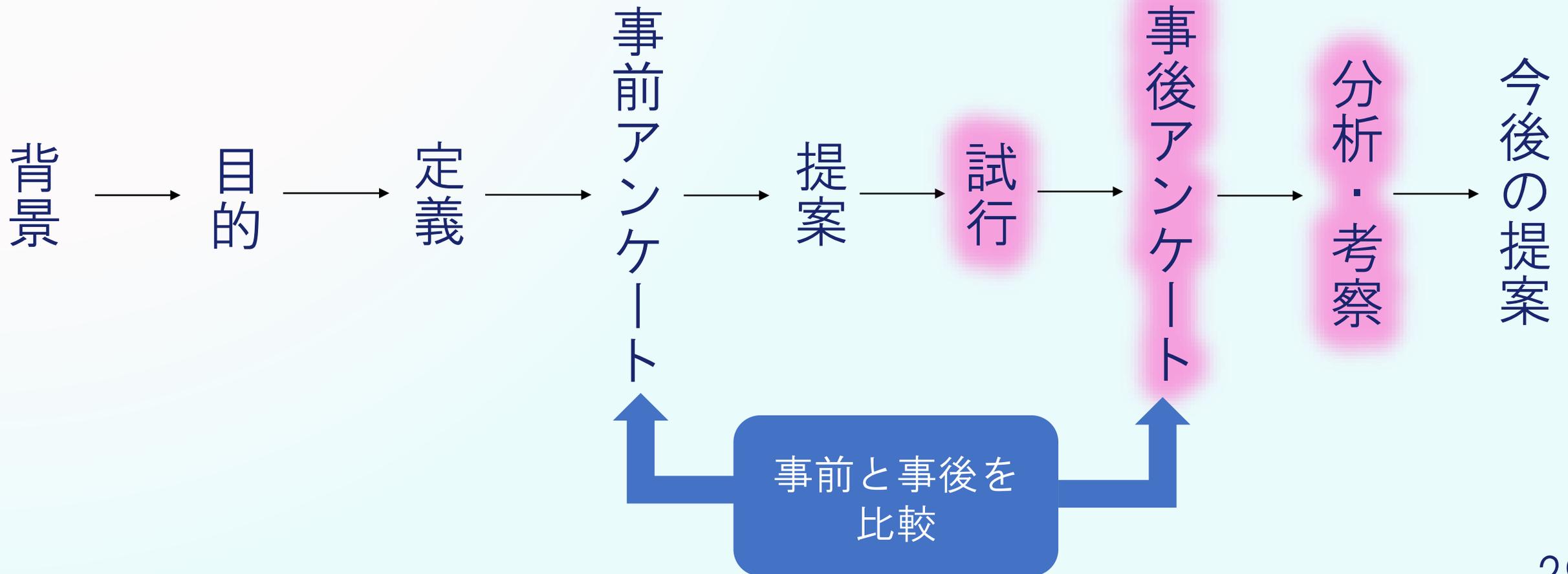
ヒアリングによる提案の検討



要素	提案	効果予測	実習中の実施可能性
面識	①パブリックビューイング	○	○
場の雰囲気	②掲示板	△	△
新しい出会いの場	③自己紹介ボード	△	△
利便性	④宿舎新歓	○	△
景観	⑤未改修棟の塗装計画	△	×
資金・財源	⑥宿舎集金	△	×
	⑦宿舎公式LINEの作成	○	△
			○



発表の流れ





試行①パブリックビューイング



目的：宿舎の交流スペースの活用によって
コミュニケーションは向上するのか検証するため

宿舎で！
パブリックビューイング
麒麟チャレンジカップ2017
日時：平成29年6月7日（水） 19:00～

シリア VS 日本

場所 ・コミュニティステーション（グローバルビレッジ）
・一の矢共用棟

社会工学類都市計画実習2班 主催 代表：徳田伊織 Mail:lifestyle2017.sk@gmail.com

日時：2017年6月7日(水)
19:00～

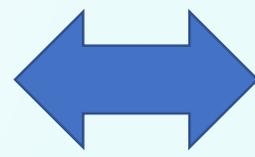
実施場所：

- ・ コミュニティステーション
（グローバルビレッジ）
- ・ 一の矢共用棟

試行①パブリックビューイング～アプローチ～

現在

交流スペース
不満足

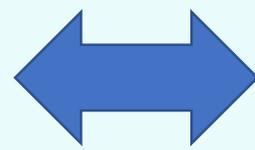


コミュニケーション
少ない

直接アプローチ

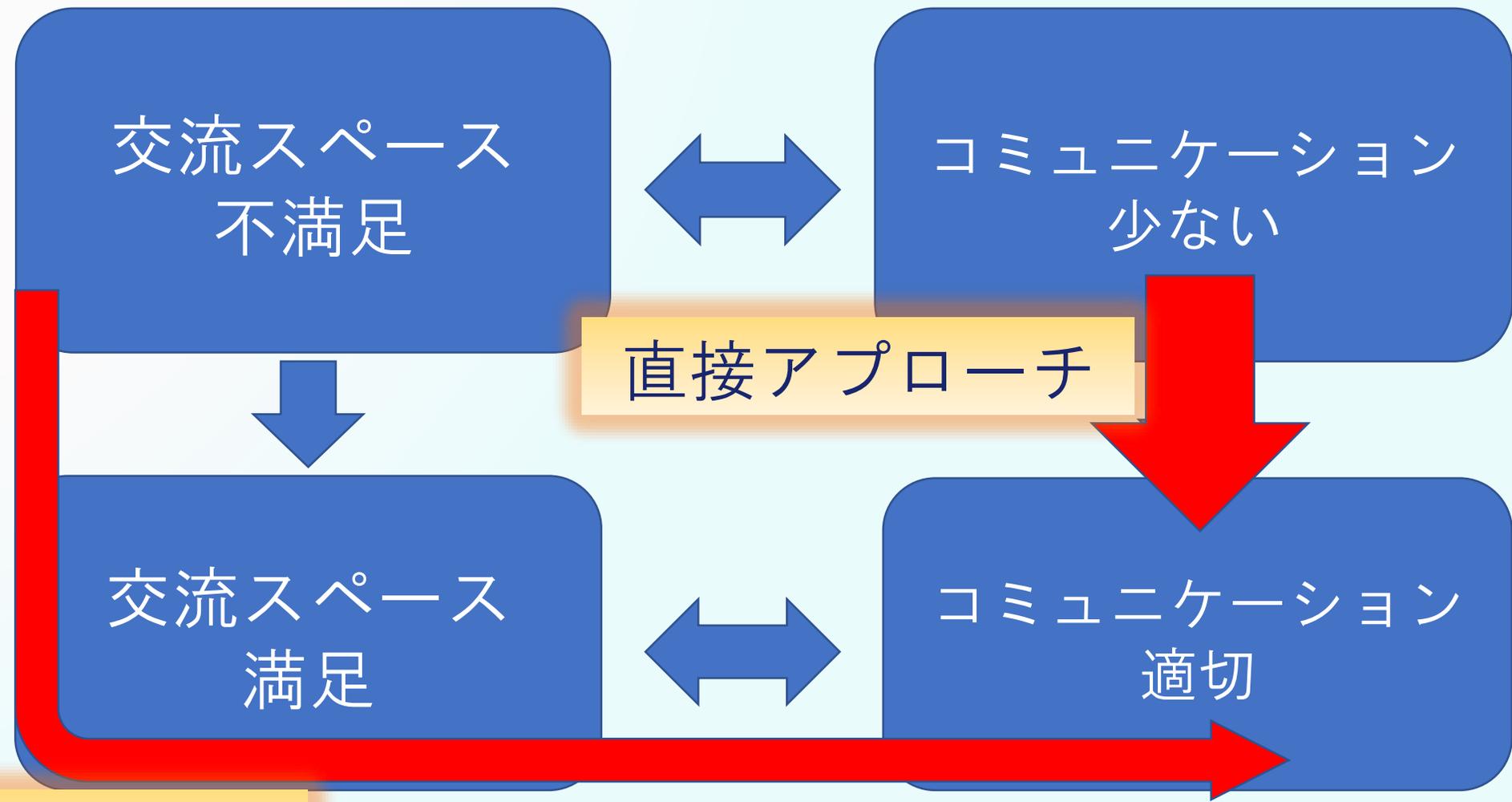
改善

交流スペース
満足



コミュニケーション
適切

間接アプローチ





試行①パブリックビューイング～実施結果～



実施結果



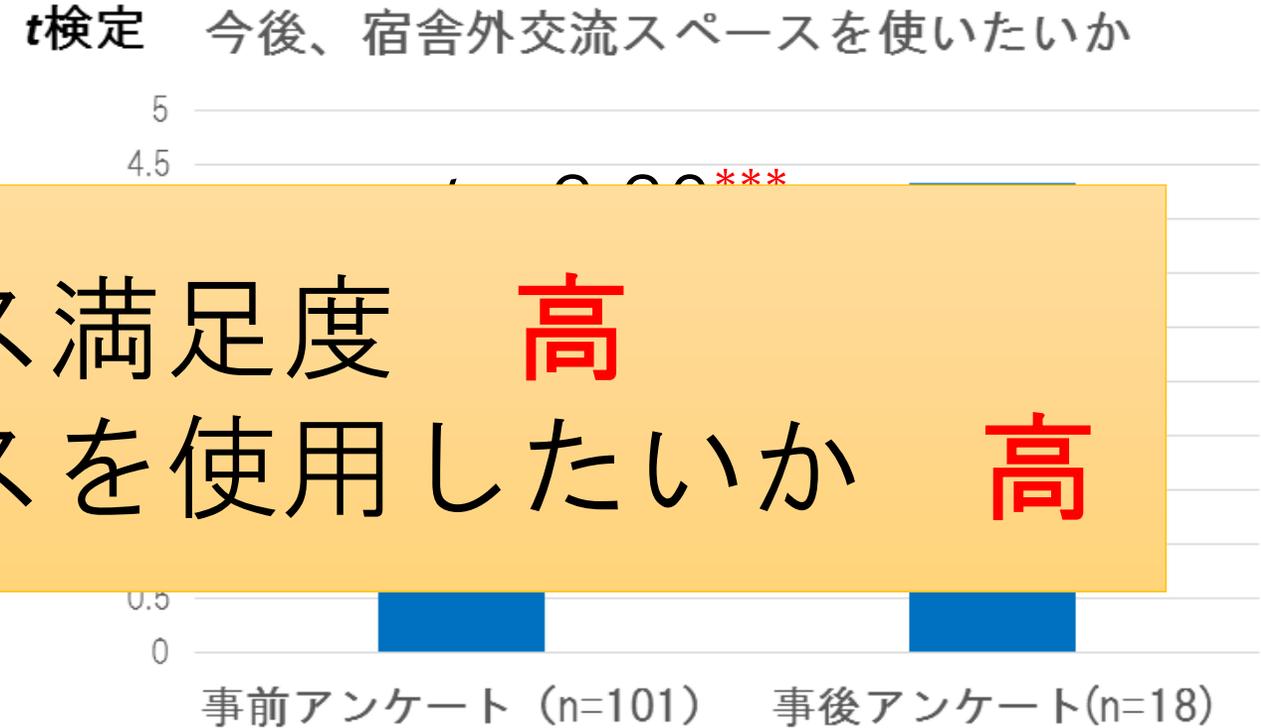
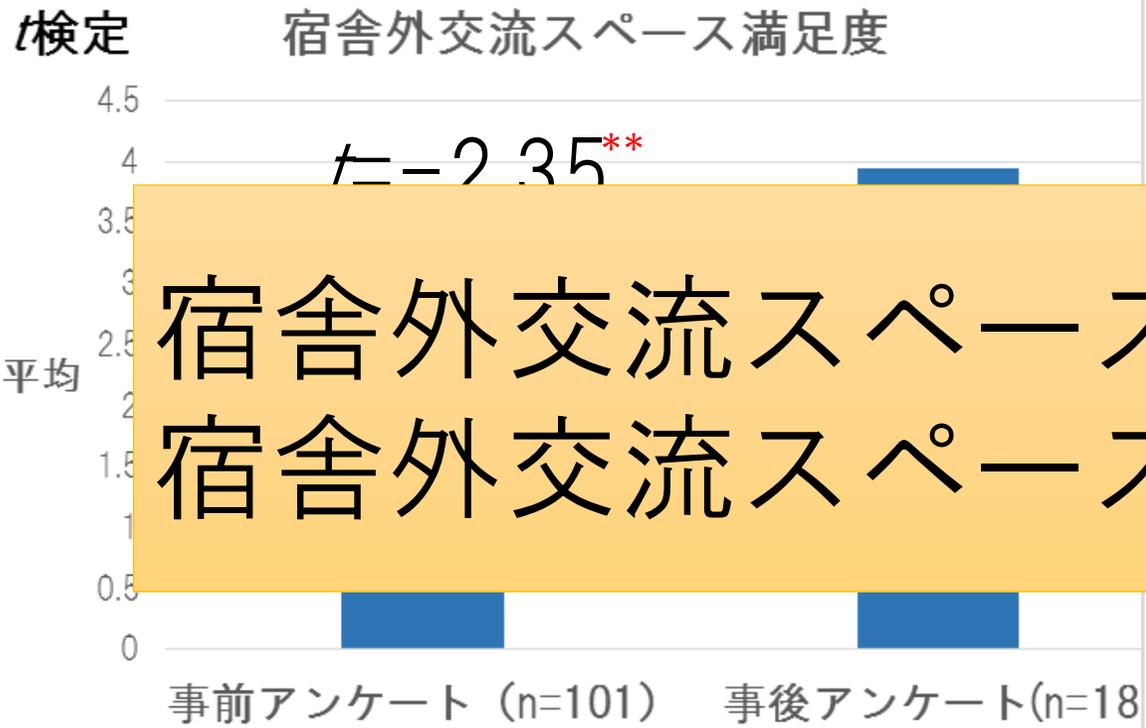
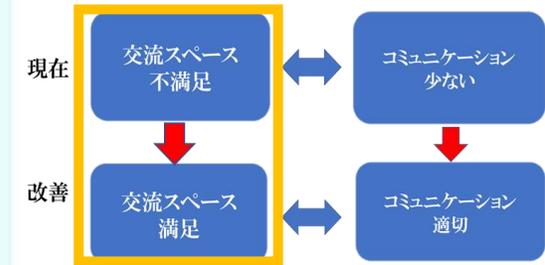
	一の矢共用棟	コミュニティステーション (グローバルヴィレッジ)
来場者数	10人	33人
アンケート回答数	10人	18人

試行①パブリックビューイング～実施の様子～





試行①パブリックビューイング～アンケート分析～

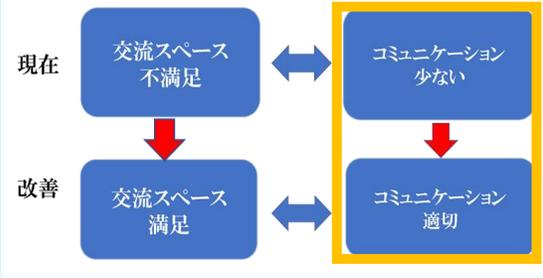
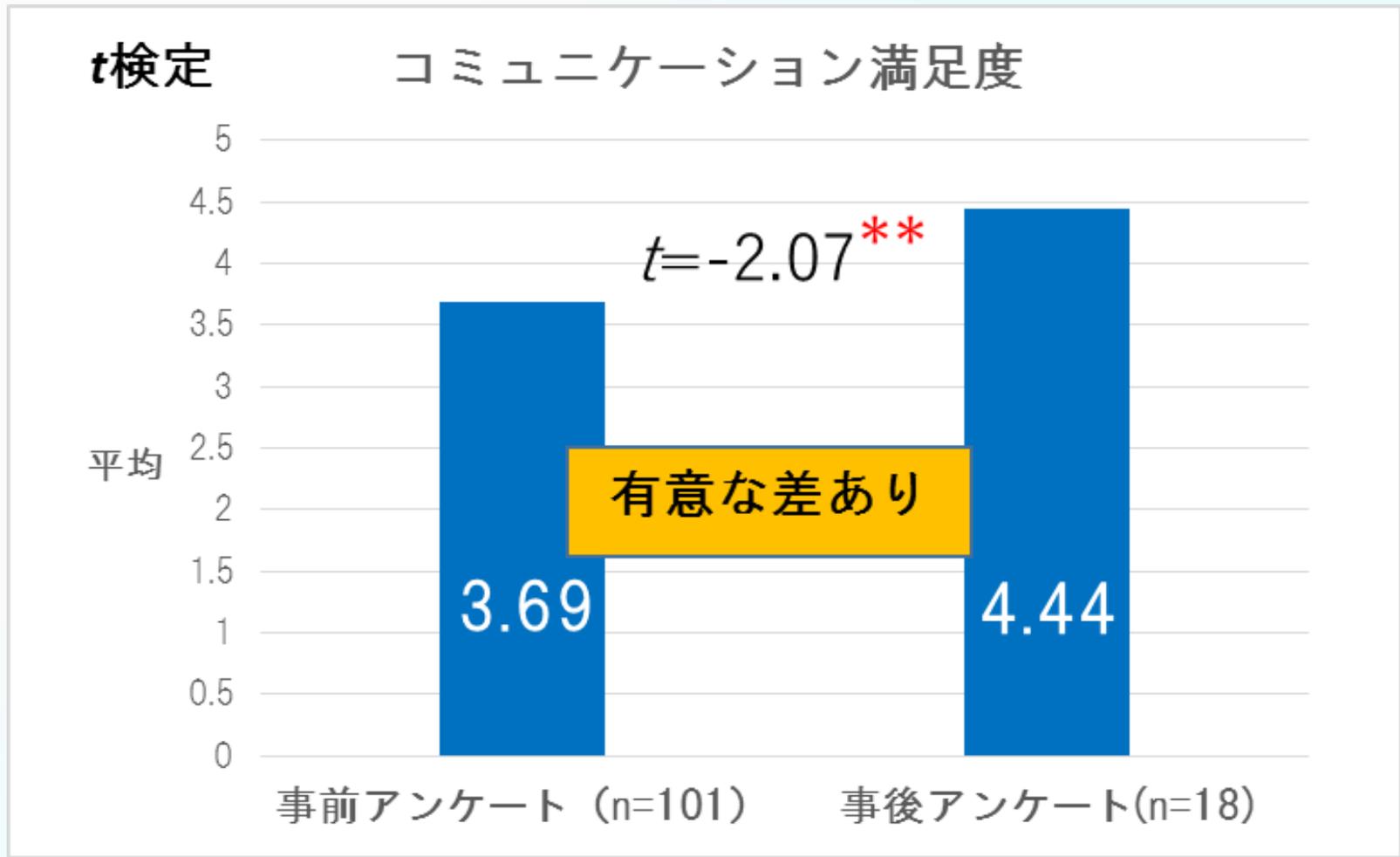


宿舎外交流スペース満足度 **高**

宿舎外交流スペースを使用したいか **高**

※*** : p < 0.01 ** : p < 0.05

試行①パブリックビューイング～アンケート分析～



※** : $p < 0.05$

→ コミュニケーション満足度がもともと高い人が参加した？



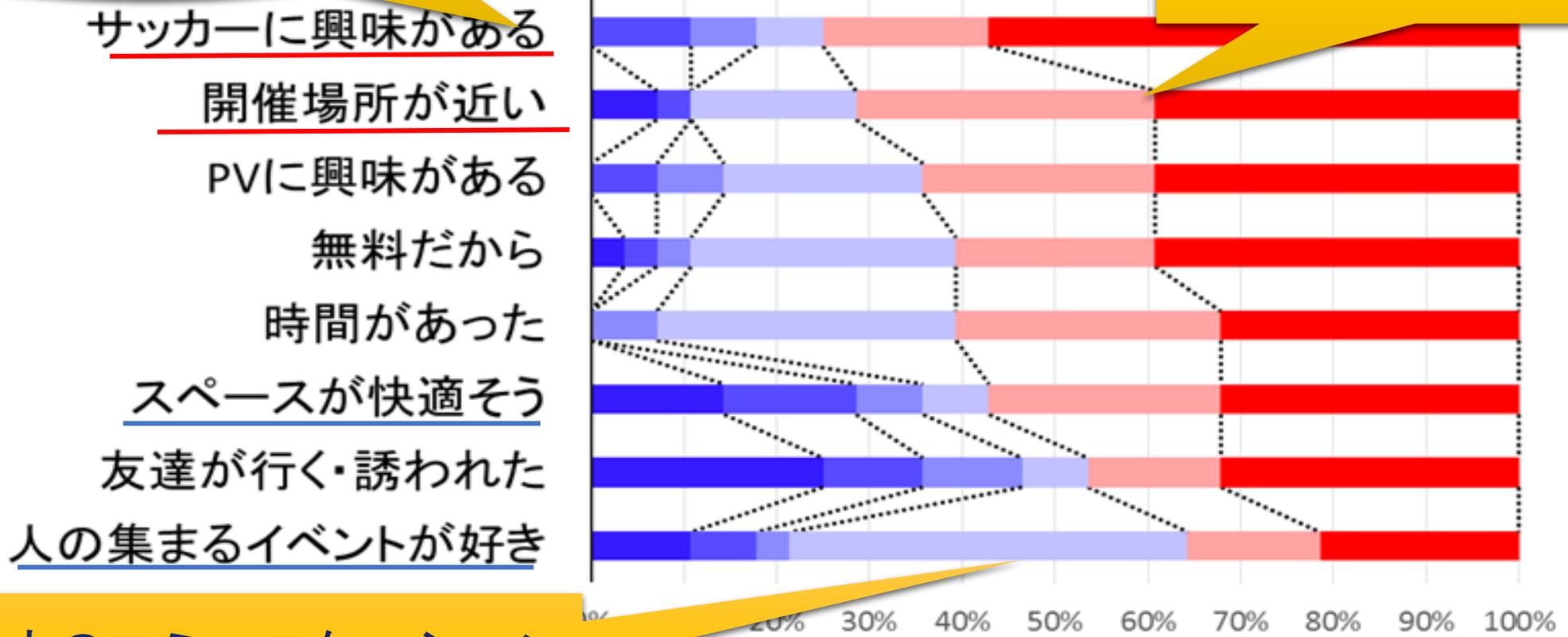
試行①パブリックビューイング～参加理由～



興味があることが最大の要因！

参加理由 n=28

宿舎でやることが重要



集まった人のコミュニケーション積極度に偏りはあまりない

不満足 (1)

非常に満足 (6)

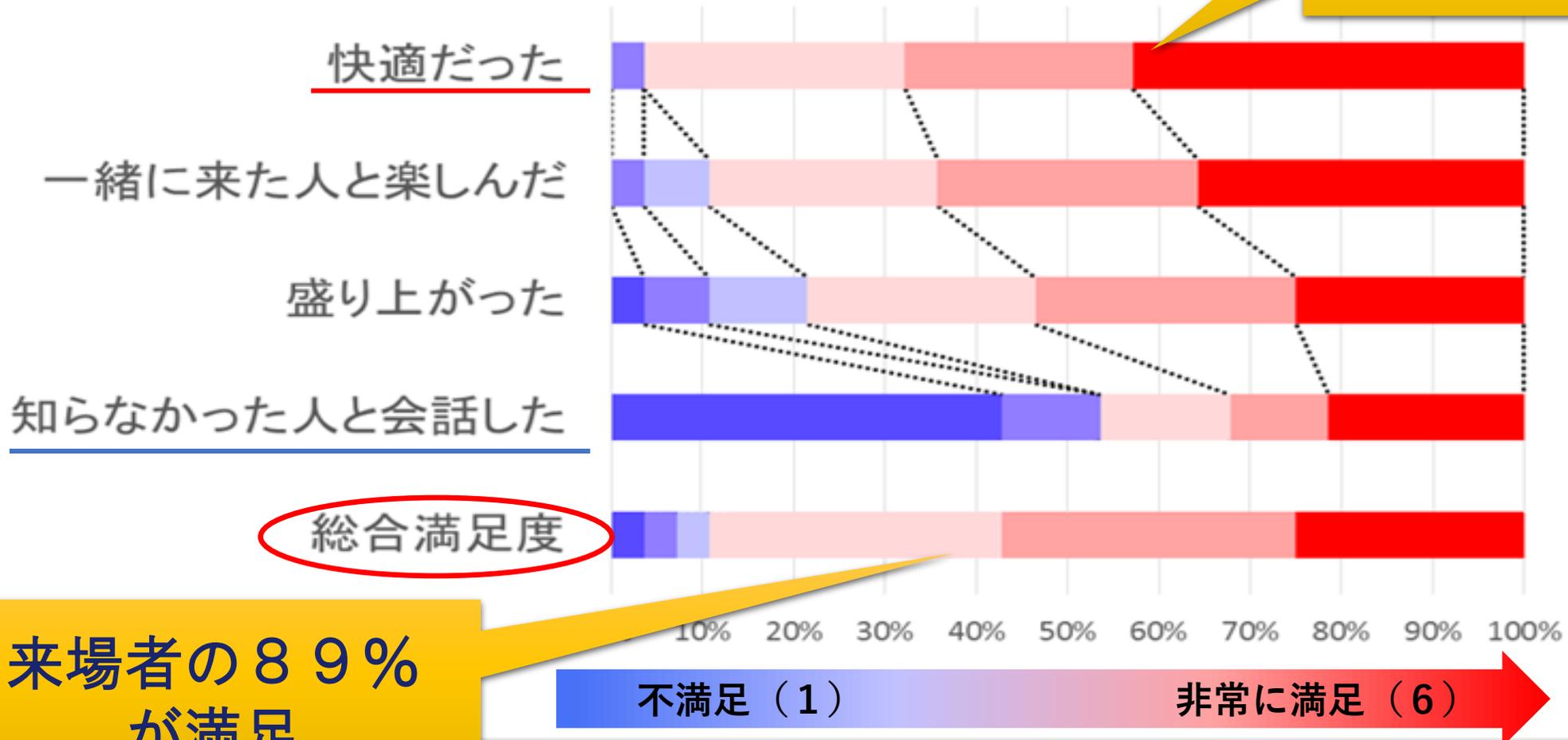


試行①パブリックビューイング～満足感～



満足感について n=28

交流スペースの
快適性が高い





試行②連絡掲示板

連絡コーナー

☆今日捕食室で鍋パーティー
しましょう！！ (203 くわばら)

コンロ使ったらきれいにしてください(;▽;)

煮物作り過ぎました(汗)
よければあげます～ 205中野

自己紹介!

宿舎棟内の「交流スペース」に設置

①「近隣居住者」との面識 UP!

②「交流スペース」使用頻度 UP! 使用満足 UP!

入道賞
交響曲第9番 未短調 作品95「新世界より」
©1994 Sony Music Inc. All Rights Reserved.

入道賞
交響曲第9番 未短調 作品95「新世界より」
©1994 Sony Music Inc. All Rights Reserved.

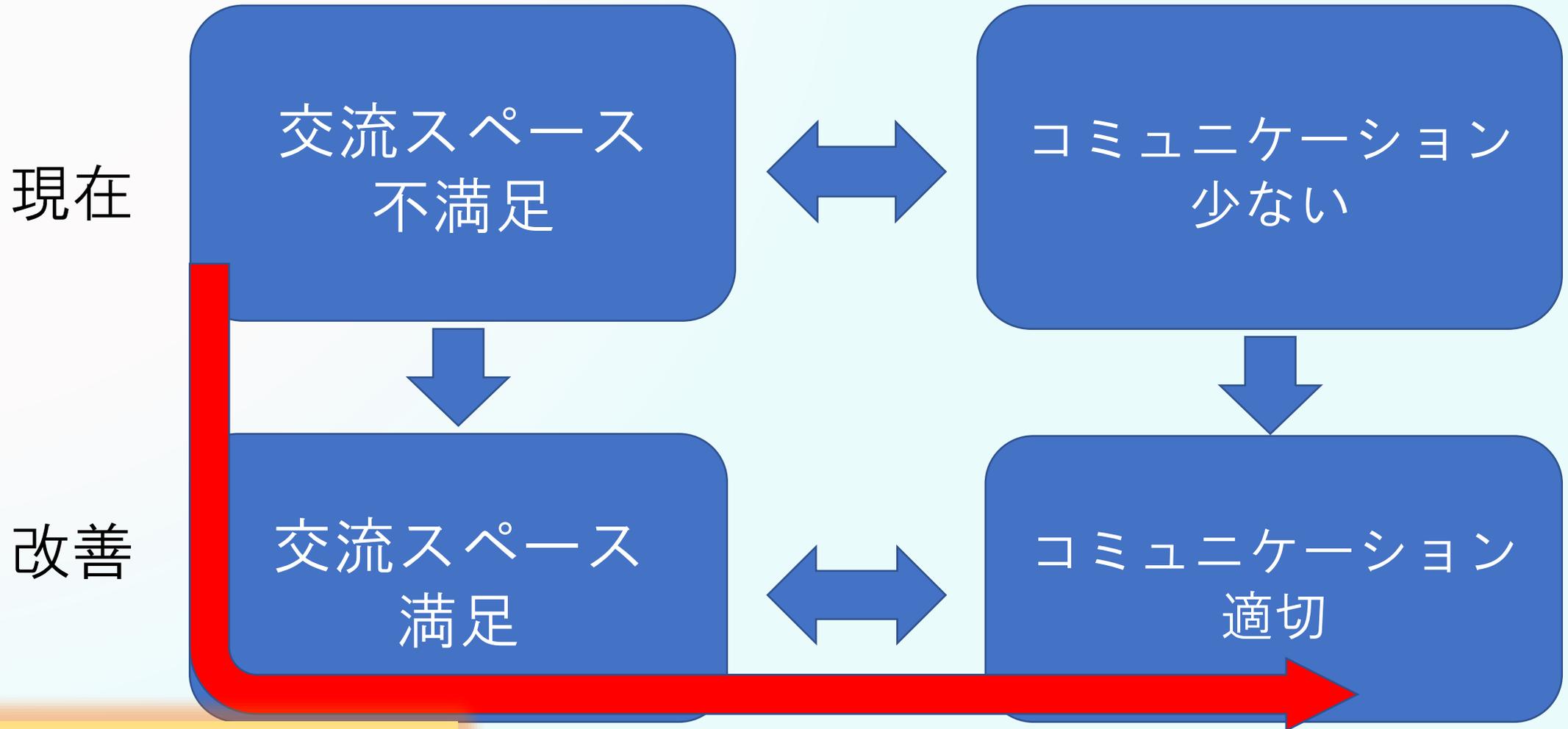


実施内容

	一の矢1A棟(男子)	一の矢3A棟(女子)
居住者数	35人	35人
実施期間	2017年6月6日(火)～6月22日(木) [17日間] 現在も設置中	



試行②連絡掲示板～アプローチ～



間接アプローチ



試行②連絡掲示板～経過の様子～



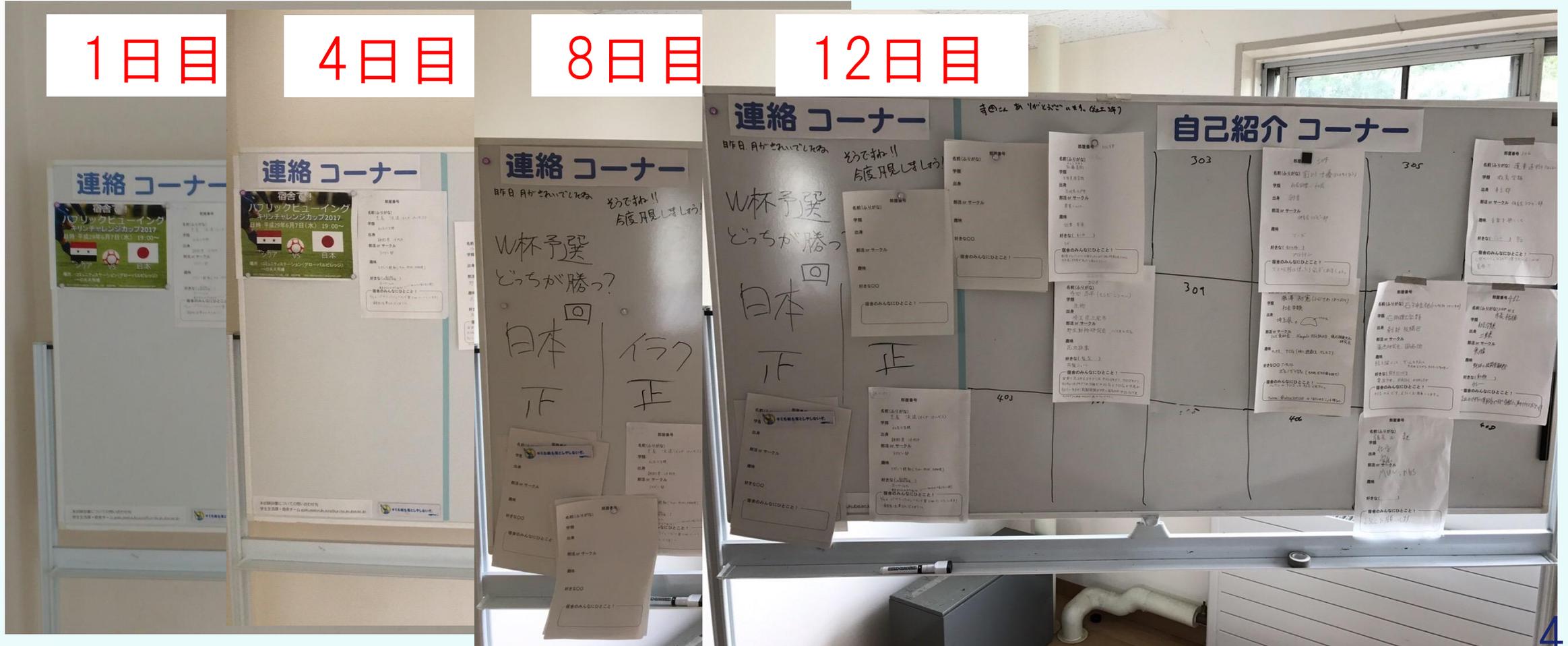
男子棟

1日目

4日目

8日目

12日目



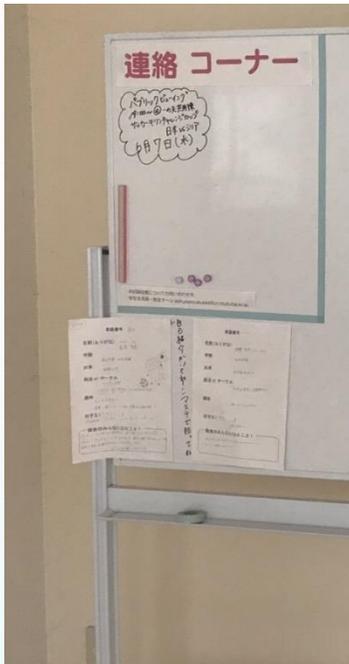


試行②連絡掲示板～経過の様子～

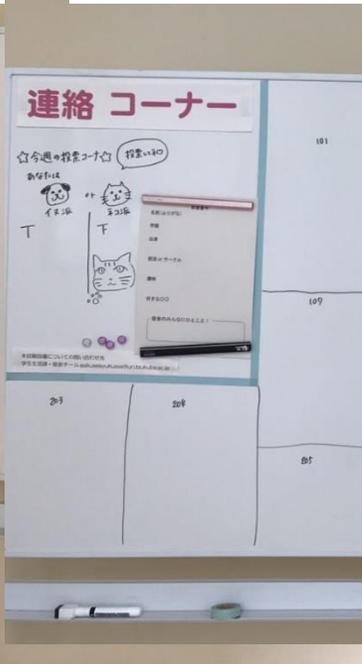


女子棟

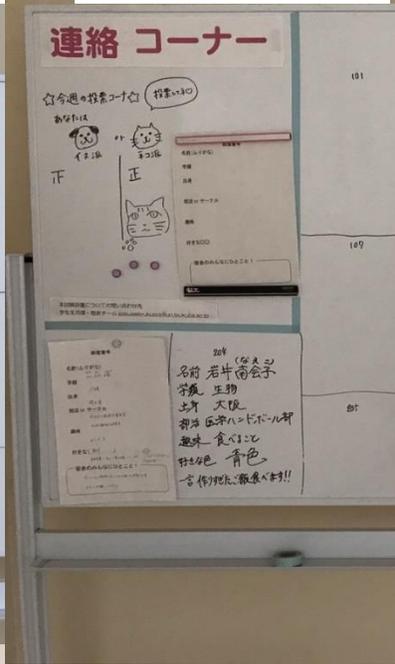
4日目



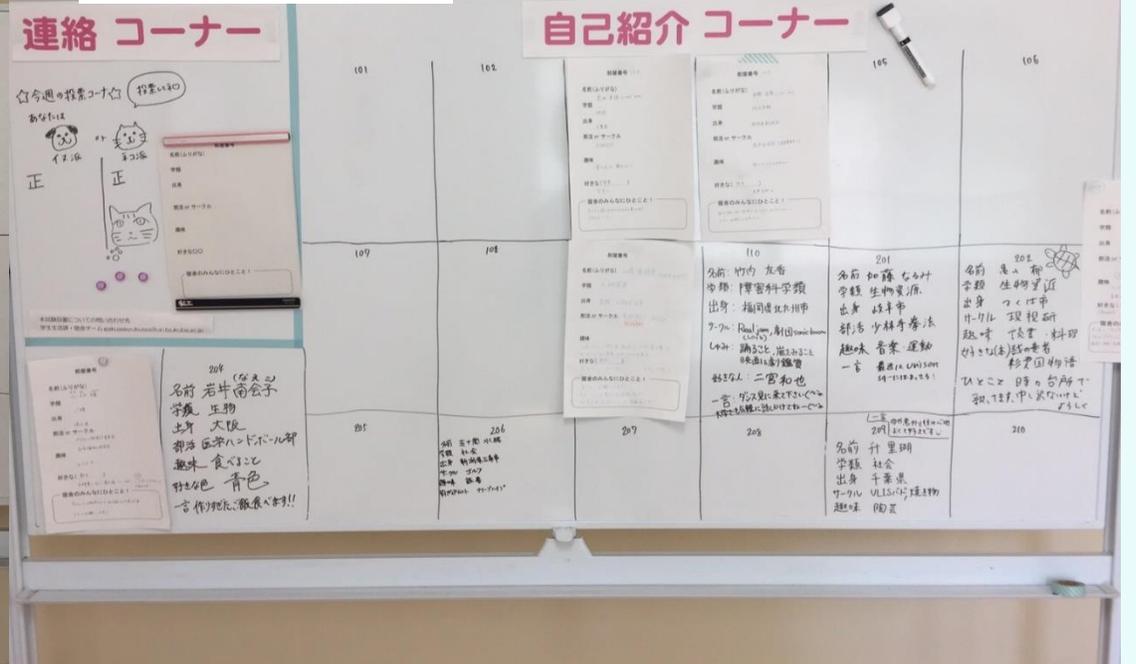
6日目



8日目



12日目

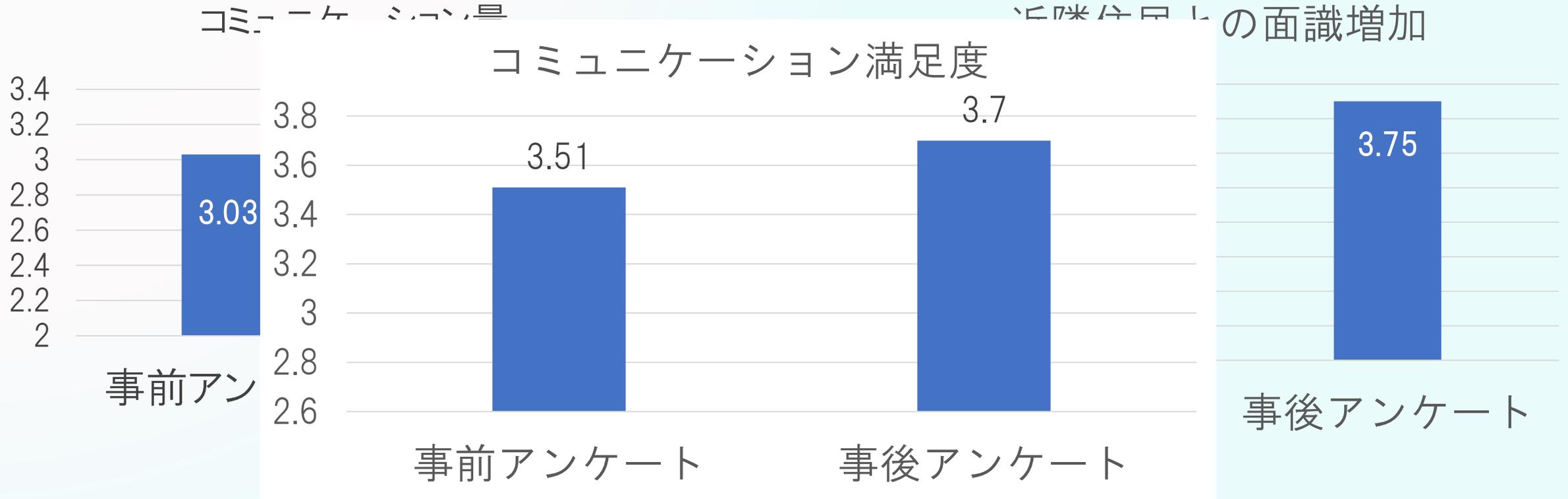




試行②連絡掲示板～アンケート分析～



統計的に有意ではないが…平均値で比較



※事前アンケートn=38 事後アンケートn=27

→ わずかに増



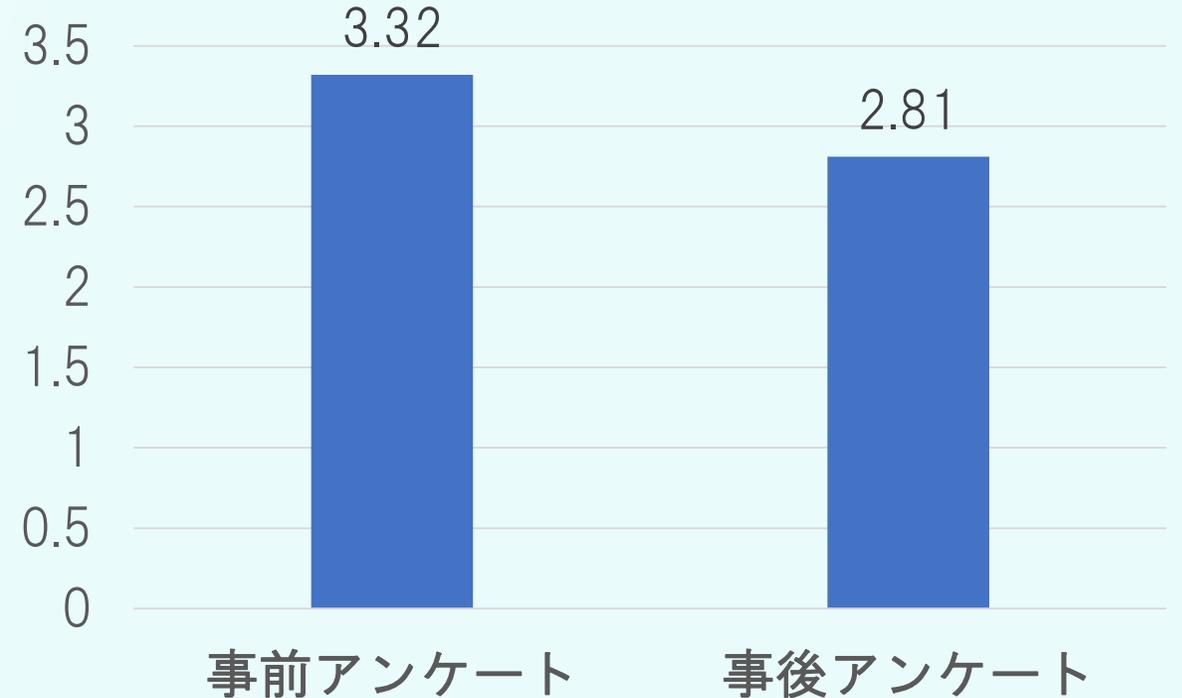
試行②連絡掲示板～アンケート分析～



交流スペース満足度



交流スペース使用頻度



※事前アンケートn=38 事後アンケートn=27

→ 期待される結果が得られなかった？



試行②連絡掲示板～考察～



実験対象棟の特徴

- ①特に理由もなく集まれる関係
 - ④外出先で雑談ができる関係
- } 対面コミュが高い
人間関係

望む回答値が有意に低い

可能性として…

- ・特にコミュニケーションが望まれていない棟である
- ・短期的な効果が発現しなかった

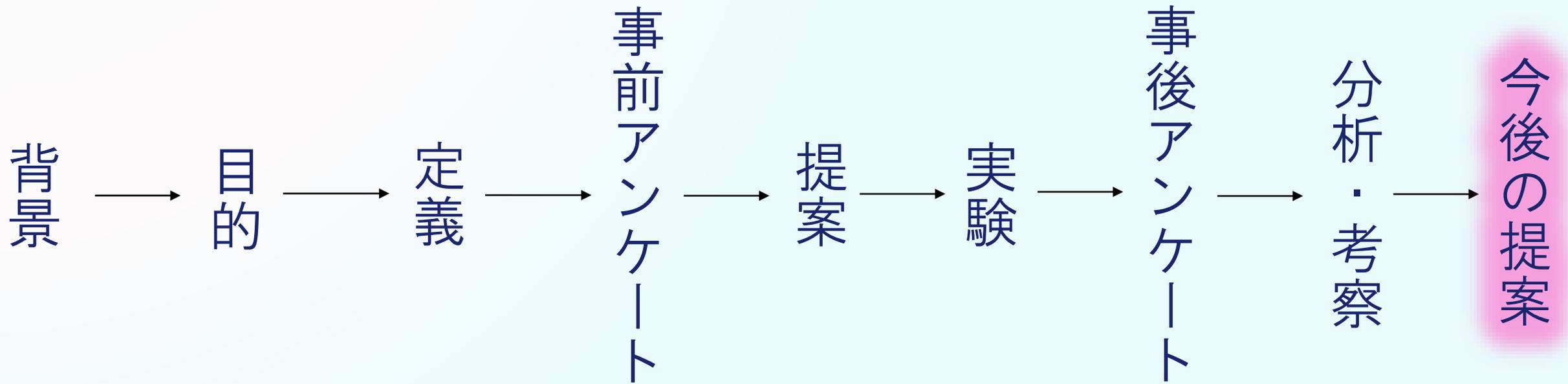


なぜ、結果が得られなかった？

- ・ 実験を行った時期が遅い可能性
- ・ 参加数の少なさ
- ・ 実施期間の短さ
- ・ 施策(連絡コーナー・自己紹介カード)の適切性



発表の流れ





今後の提案～宿舎棟外～



① 共用棟

パブリックビューイングの成功

→積極度低い人でもコミュニケーションの増加ができる!

- ・ 宿舎に近い立地
- ・ 居住者の興味のあることを気軽に楽しめる環境
- ・ 利用に人手があまり必要ない提案

例) ・ プロジェクターの常設 ※カギで管理
(パブリックビューイング、映画鑑賞会を任意で)
・ 卓球台の設置 など



今後の提案～宿舎棟内～



②宿舎各棟

連絡掲示板

- 連絡コーナー → 交流スペースの使用頻度を増やす目的
自己紹介カード → 近隣の住民との面識人数を増やす目的

- ・ 新入生の入居時に自己紹介カードを渡す
- ・ 最初の集まりで棟ごとに集まってもらって自己紹介
- ・ 掲示板内容の改善



実習のまとめ～背景・目的～



背景：宿舎居住者のコミュニケーションが不十分？

根拠：

「願望と現状の乖離」の是正

「コミュニケーション満足度」の向上 が可能

～目的～

- ・ コミュニケーションをとりたい人にきっかけを与える
- ・ 宿舎でのコミュニケーションを満足させる



実習のまとめ～事前アンケート分析～



分析：コミュニケーションの定義（重回帰分析）

→ 特に理由もなく集まれる
外出先で雑談ができる

コミュ満足UP
乖離DOWN

分析：事前アンケート（t検定）

→ 近隣住民との面識
交流スペースに満足する

コミュ満足UP
コミュ満足UP



実習のまとめ～提案・試行～



試行①：宿舎でパブリックビューイング

→「交流スペース満足」の**向上に成功!**

試行②：連絡掲示板

→「交流スペース満足」 **わずかに増**
コミュニケーション量 **わずかに増**



実習のまとめ～考察・今後の提案～



今後の持続性：

①宿舎でパブリックビューイング

宿舎棟内・外にかかわらず、
居住者の「興味」に対応できる提案が必要

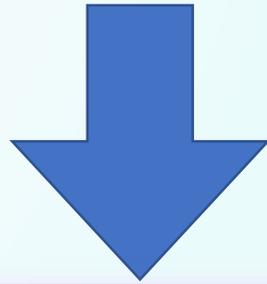
→実施時期、掲示板内容の改善



実習のまとめ



宿舎内のコミュニケーション満足度が上がる



所属の違う人たちとの交流
= **快適な生活** + **人生の財産**
(安心感・防犯) (思い出・友達・社交性)

君の名は。



謝辞



筑波大学 学生生活課厚生・宿舎チーム
大手 昇一 様
細沼 祐介 様

筑波大学施設部
施設サービス課 山田 慶一 様
施設企画課 鷺森 航太 様

コミュニティステーションの管理人の方々

指導教員：甲斐田直子先生
TA：増田祐太郎さん

連絡掲示板の試行と調査に
協力してくださった
一の矢学生宿舎 1A棟 3A棟の皆様

発表に助言をしてくださった
甲斐田研の学生の皆様

アンケートに協力してくださった
学生の皆様

(順不同)

ご協力いただきありがとうございました。



出典



【参考文献】

都市計画実習2015

スマートキャンパス班Why Japanese people！～どうして宿舎で交流しないの！～

http://toshisv.sk.tsukuba.ac.jp/jisshu/jisshu1/report/2015/g2_sc/

【写真引用先】

・スライド1

ココロのおはなし(<http://akita51.cocolog-nifty.com/blog/2011/09/post-bdf7.html>)

・スライド5

いらすとや(http://www.irasutoya.com/2014/05/blog-post_9404.html)

・スライド7.9

つくいえ(<https://tsukuba-daigaku.com/?p=15678>)

・スライド27

ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター アクセシビリティ部門

(<http://dac.tsukuba.ac.jp/shien/support/career/>)



ご清聴ありがとうございました。